

昨年コントラクトブリッジを始め、チーム戦に出るようになって1年。

これまでリジョナルでの入賞経験も無く、今回のフライトC優勝という結果に驚くばかりです。

ベテランの方からすると、そのビッド/プレイは無いだらうと思われるかもしれませんが、

私なりに「ハンドのお話」を書かせていただこうと思います。

コントラクトブリッジはまだ1年ですが、それまで将棋やその他ボードゲームをやっているため、プレイでもビッドでも何が正しいかより、どうしたら勝てるか/勝てる可能性が高いかを考えてしまいます。

特に、ここで点差がつきそうと感じたら勝負にいくところがあります。

そういうところが出たかなと思うハンドを取り上げてみます。

まず第4ラウンドの24番ボード。

E-Wの4Hのビッドに5Cと競られ悩みましたが、Wの4Hはメイクしていたと思うので、このまま許す訳にはいかないということでダブル。

5Hに上げるかはEのパートナーに判断を任せます。

パートナーは5Hをビッドし私がプレイすることに。

SやDをリードされるとダウンしそうでしたが、Cのリード。

Hを回してからSでDのルーザーを消してジャストメイク。

チームメイト(裏ペア)が5Cをメイクしていたので

大きな得点になりました。

```
BOARD: 24      ♠9852
DEALER: W      ♥3
VUL: None     ♦KQJ10
                ♣AK94
                ♠Q107   *NN* ♠AKJ643
                ♥K98754 W E ♥J62
                ♦A4     W E ♦8763
                ♣J2     *SS* ♣
                ♠
                ♥AQ10
                ♦952
                ♣Q1087653
```

次に第7ラウンドの11番ボード。

私はWで、1Hとオープン。E-Wフリーランで、Eの1Sレスポンスに「3H」とリビッドしました。

13HCPしかありませんが、形が良く、ゲームを逃したくないと感じ、3Hを選択。

第6ラウンドで初黒星を喫し、第7ラウンドも前半ボードが良くなく、嫌な流れを断ち切りたかったというのもあったかもしれません。

すると思わぬ4NTがEから返ってきて焦りながらも、5Sから6Hにたどり着きました。

Sリードならダウンしそうなところですが、EがSを言っていることもありリードはC。

HのKのフィネスが抜け、Sで負けられなくなってしまい…。

Sを消すにはこれしかないとしてCの3-3ブレイクに賭けたところ、これが成功。DのKとCの5でSのルーザーを消すことができ、6Hをメイクすることができトップボード。

これによりこのラウンドで勝利でき、次に繋げることができました。

```
BOARD: 11      ♠J4
DEALER: S      ♥K762
VUL: None     ♦10962
                ♣1086
                ♠962   *NN* ♠A1073
                ♥AQJ1043 W E ♥85
                ♦A     W E ♦K43
                ♣Q94   *SS* ♣AK75
                ♠KQ85
                ♥9
                ♦QJ875
                ♣J32
```

最後に第8ラウンドの26番ボード。

Eから1Dオープンで、Sが1Hオーバーコール。

Wの私は14HCPであるもののDが強い4枚にオポーンストのHがシングルトン。CはAさえいなくなれば走れそう。

ということで2Hとキュービッド。

Eは3Dとミニマムを示すも、バルのゲームは大きく、メイクする可能性は50%以上あると判断し5Dとビッド。

HとCのAに負けるだけでジャストメイク。

大きく得点できました。

BOARD: 26	♠87652
DEALER: E	♥J74
VUL: Both	♦83
	♣653
♠Q10	*NN* ♠AK3
♥5	W E ♥10832
♦KQJ10	W E ♦A7652
♣KQJ1094	*SS* ♣7
	♠J94
	♥AKQ96
	♦94
	♣A82

まだまだプレイもビッドも粗いところがありますが、今回は落ち着いてできたこと、勝負感が冴えていたこと、集中力が2日間切れなかったことがこの結果に繋がったと思います。

今後もまたがんばっていきたいと思います。